

# 事務事業評価シート

(H.30)No.	3056	(H.29)No.	3056
-----------	------	-----------	------

事務事業名	企業立地推進事業		
担当部局名	産業部	担当室名	商工経済室
		室長名	福田 浩士

会計区分	一般会計	事業コード	361501
		(中事業名)※予算書事業名	
款	商工費	企業立地推進事業	
項	商工費	(小事業名)	
目	商工業振興費	企業立地推進事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	1	地域産業の振興
	施策	2	商工経済
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	<p>名張市企業立地促進条例、滝之原工業団地企業立地緊急措置条例及び名張市先端産業立地促進条例に基づき、企業への支援や優良企業の誘致を行うことで、雇用の確保と産業基盤の強化を図る。</p>
事業内容	<p>・企業立地促進条例に基づく奨励金          ・滝之原工業団地企業立地緊急措置条例に基づく奨励金          ・名張市先端産業立地促進条例に基づく奨励金</p>

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>先端産業立地促進補助金 支出実績なし</li> <li>旅費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先端産業立地促進補助金 対象企業1社 12,000千円</li> <li>旅費 30千円</li> </ul>	

  

	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>先端産業立地促進補助金対象企業1社</li> <li>旅費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先端産業立地促進補助金対象企業1社</li> <li>旅費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先端産業立地促進補助金</li> <li>旅費</li> </ul>

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		0千円		12,030千円	12,030千円	12,030千円	0千円
内訳 (千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他( )						
	一般財源	0	0	0	12,030	12,030	12,030
人工数	職員		0.08人	0.08人	0.08人	0.08人	0.08人
	臨時職員等						
②概算人件費	0千円	592千円	0千円	592千円	592千円	592千円	592千円
①+②総事業費	0千円	592千円	0千円	12,622千円	12,622千円	12,622千円	592千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

<p>考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)</p> <p>企業立地促進条例の指定を受けた企業への申請手続き等の事務支援を行った。先端産業分野の創出を支援したことにより、市内産業への活性化に貢献した。</p>
---

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

<p>今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)</p> <p>名張市先端産業立地促進条例に基づき、新たに交付対象となる企業や優良企業の誘致についても検討が必要。名張市の産業基盤と雇用の拡大を図る誘致促進施策であり、条例に基づき継続する必要がある。また、新たに対象となる企業があれば支援する必要がある。</p>
--

<p>6. 事務事業の取組に関する市の計画</p> <p>名張市産業振興ビジョン</p>
--